

【主担当部局：医療保健部】

県民の皆さんとめざす姿（令和5年度末での到達目標）

企業、関係機関・団体、市町と連携して健康づくりに取り組み、病気の予防、早期発見、治療、療養生活の質の維持向上のための対策が進み、県民一人ひとりが適正な生活習慣を身につけることにより、生涯を通じて健康的な生活を送っています。また、県民の皆さんが生活習慣病や難病等にかかった時も、適切な治療や支援を受けています。

主指標						
目標項目	令和元年度	2年度		3年度	4年度	5年度
	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
健康寿命		男性 78.9 歳 女性 81.1 歳 (元年)		男性 79.1 歳 女性 81.2 歳 (2年)		男性 79.6 歳 女性 81.4 歳 (4年)
	男性 78.7 歳 女性 81.1 歳 (30年)					
目標項目の説明と令和2年度目標値の考え方						
目標項目 の説明	国の定める健康づくりの基本的方針である「健康日本21（第2次）」の目的のひとつであり、県民が日常的に介護を必要とせず、自立して心身ともに健康的な日常生活を送ることが出来る期間					
3年度目標値 の考え方	平均寿命と健康寿命の差を縮めるため、健康寿命の伸びの目標値を平均寿命の伸びを1割上回る値（男性0.23歳、女性0.11歳）を目標値として設定しました。					

副指標						
目標項目	令和元年度	2年度		3年度	4年度	5年度
	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
特定健康診査受 診率		55.2% (元年度)		56.7% (2年度)		59.7% (4年度)
	53.4% (30年度)					
フッ化物洗口を 実施している施 設数（累計）		199 施設		219 施設		259 施設
	178 施設					

## 現状と課題

- ①新型コロナウイルスの感染拡大の影響により生活習慣が変化し、運動不足や食生活の乱れ等、身体への影響が生じたり、医療機関や定期健診の受診を控えたりする傾向がみられています。新型コロナウイルス感染拡大防止をふまえた、新しい生活様式に対応した健康づくりの取組を推進していく必要があります。
- ②企業や市町と連携して県民の主体的な健康づくりを推進する「三重とこわか健康マイレージ事業」の周知を図り、令和2年10月末現在で、マイレージ特典協力店が1,130ヶ所、マイレージ取組事業所が155ヶ所となりました。また、「三重とこわか県民健康会議」を設置し、企業、関係機関・団体、市町等との連携により、社会全体で継続的に健康づくりに取り組む気運の醸成を図っています。加えて、企業における健康経営の取組を促進するため、「三重とこわか健康経営カンパニー」認定制度および「三重とこわか健康経営促進補助金」を創設するとともに、認定企業のうち優れた健康経営に取り組んでいる6企業を「三重とこわか健康経営大賞」として表彰を行いました。引き続き、県民が主体的に取り組む健康づくりや企業の健康経営の取組を推進するなど、社会全体で継続的に健康づくりに取り組んでいく必要があります。
- ③県民の健康的な食生活の実現に向けて、「県民健康の日記念イベント」や「健康野菜たっぷり料理グランプリ」等において、企業、関係機関・団体と連携し、バランスのとれた食事をはじめ、野菜摂取や減塩を促すための普及啓発を行っています。さまざまな場面で企業の健康経営等と連携し、働く世代の健康づくりの取組をさらに推進していく必要があります。
- ④糖尿病の発症予防や重症化予防の取組を推進するため、保健、医療に関わる関係者の人材育成を行うなど連携を強化しています。引き続き、地域の関係者と医療機関が連携し、広く県民への生活習慣病予防の啓発を行っていく必要があります。
- ⑤改正健康増進法の全面施行に伴う受動喫煙防止対策について、事業者等からの相談に対応しています。また、受動喫煙防止対策として「たばこの煙の無いお店」への登録や啓発等に取り組んでいます。望まない受動喫煙が生じないように、引き続き、健康への影響等について周知啓発を行う必要があります。
- ⑥在宅で歯科保健医療サービスが利用できるよう、地域口腔ケアステーションを窓口として、医療、介護関係者等の連携を進めています。また、障がい児（者）の歯科診療の充実を図るとともに、医科歯科連携が推進されるよう連携会議や研修を行っています。さらに、市町等と連携し、フッ化物洗口モデル事業を促進するなど、フッ化物洗口の拡大に取り組んでいます。引き続き、計画的に歯と口腔の健康づくりを推進する必要があります。「みえ歯と口腔の健康づくり条例」については、令和2年度中の改正に向け検討を進めています。
- ⑦医療費助成制度の円滑な運営に取り組むとともに、難病医療診療連携拠点病院、難病医療分野別拠点病院等のさらなる連携を図り、難病患者を支える医療提供体制の整備に努めています。また、難病相談支援センターにおいて、難病患者等への各種相談、就労支援等を実施しています。引き続き、医療費助成制度を円滑に運営するとともに、医療提供体制や相談支援体制の充実を図る必要があります。
- ⑧骨髄バンク事業推進のため、県内関係者と連携して、街頭啓発等の普及啓発に取り組んでいます。また、令和2年度からは「三重県骨髄等移植ドナー助成事業補助金」を創設し、市町が実施するドナー助成への支援を行っています。引き続き、骨髄バンクの普及啓発や骨髄提供しやすい環境づくり等に取り組んでいく必要があります。

## 令和3年度の取組方向

- ①新型コロナウイルスの感染拡大がさまざまな影響を与える一方で、健康への関心が高まるとともに、重症化予防や健康づくりの重要性が再認識されていることをふまえ、新しい生活様式に対応した健康づくりの取組を推進していきます。
- ②「三重とこわか健康マイレージ事業」の周知を引き続き図り、企業や市町と連携して県民の主体的な健康づくりを推進します。また、「三重とこわか県民健康会議」を通じて、社会全体で健康づくりに継続して取り組む気運の醸成を図るとともに、「三重とこわか健康経営カンパニー」認定制度の普及定着や、「三重とこわか健康経営促進補助金」の活用、「三重とこわか健康経営大賞」による表彰により、企業における健康経営を推進します。さらに、こうした取組にDXを取り入れながら、継続・発展的に健康づくりを推進します。
- ③さまざまな主体との連携により食育活動を推進し、バランスのとれた食事の大切さをはじめ、野菜摂取や減塩の必要性について、イベントなどさまざまな機会を通じて、広く県民に啓発を行います。
- ④糖尿病の発症予防や重症化予防の取組を推進するため、引き続き保健、医療関係者の人材育成を図るとともに、関係機関・団体、市町との連携により、生活習慣病予防の啓発や糖尿病の受診勧奨等を進めることで、重症化予防の取組を進めます。
- ⑤受動喫煙防止対策について、引き続き事業者等からの相談に対応するとともに、「三重とこわか県民健康会議」等を通じて、事業者に受動喫煙防止の取組について啓発を行います。
- ⑥令和2年度に改正予定の「みえ歯と口腔の健康づくり条例」に基づき、医科歯科連携や地域包括ケアシステムにおける歯科口腔保健の取組やフッ化物洗口によるむし歯予防の取組を進めていきます。
- ⑦難病医療費助成制度の円滑な運営のため、難病指定医等の育成や、指定医療機関の増加に取り組むとともに、難病患者が身近な医療機関で適切な治療を継続できるよう、難病拠点病院、協力病院が連携し、さまざまなニーズに対応できる医療提供体制や相談支援体制の充実を図ります。また、難病患者やその家族の療養生活におけるQOLの向上を図るため、ハローワーク等と連携し、生活・療養相談、就労支援を行います。
- ⑧骨髄バンクの円滑な実施に向け、ボランティア団体や関係機関と連携を図りながら、若年層を中心とした骨髄バンクに関する正しい知識の普及啓発や骨髄提供希望者（ドナー）の確保に取り組みます。また、ドナー休暇制度の導入促進や、市町に対して「三重県骨髄等移植ドナー助成事業補助金」の活用を促すなど、骨髄提供しやすい環境づくりを推進します。

## 主な事業

### ①（一部新）三重とこわか健康推進事業

【基本事業名：12401 健康づくり・生活習慣病予防活動の推進】

予算額：(R2) 23,130千円 → (R3) 32,736千円

事業概要：「三重とこわか県民健康会議」を開催し、企業における健康経営の取組の推進や、優れた取組に対する表彰、先進的な取組の横展開を図ります。また、「三重とこわか健康経営促進補助金」をリニューアルし、「三重とこわか健康経営カンパニー（ホワイトみえ）」認定企業が実施するDXを取り入れた健康づくりの取組に要する経費の一部を補助します。さらに、「三重とこわか健康マイレージ事業」について、健康づくりに取り組む必要性の高い市町において、令和2年度実証事業で得られたエビデンスに基づき、DXを取り入れたモデル事業を実施します。

②（一部新）三重の健康づくり推進事業

【基本事業名：12401 健康づくり・生活習慣病予防活動の推進】

予算額：(R2) 8,543千円 → (R3) 22,991千円

事業概要：受動喫煙の防止や生活習慣病の予防、食育活動の取組が各地域で促進されるよう関係機関と連携を図り、地域に応じた健康づくりを推進します。また、「三重の健康づくり基本計画」の最終評価および次期計画策定のための基礎資料を得るため、県民の健康づくりに関する意識調査を実施します。

③糖尿病発症予防対策事業【基本事業名：12401 健康づくり・生活習慣病予防活動の推進】

予算額：(R2) 1,377千円 → (R3) 1,284千円

事業概要：関係団体と締結した「糖尿病性腎症重症化予防に係る三重県連携協定」等に基づき、大学、医療機関等と連携し、糖尿病予防についての普及啓発や慢性腎臓病（CKD）対策を引き続き実施するとともに、重症化予防の取組が身近な地域で効果的に行われるよう、糖尿病の治療や支援ができる人材の育成を行います。

④健康増進事業【基本事業名：12401 健康づくり・生活習慣病予防活動の推進】

予算額：(R2) 93,522千円 → (R3) 95,687千円

事業概要：生活習慣病予防や健康の保持増進のため、主に40歳以上の住民を対象に実施する市町の健康教育、健康相談、健康診査、訪問指導等の保健事業を支援します。

⑤（一部新）歯科保健推進事業【基本事業名：12402 歯科保健対策の推進】

予算額：(R2) 90,303千円 → (R3) 94,032千円

事業概要：令和2年度に改正予定の「みえ歯と口腔の健康づくり条例」をふまえ、各地域の在宅口腔ケアや歯科治療の充実、介護予防、医科歯科連携に取り組むため、地域口腔ケアステーションの機能充実に図るとともに、歯科口腔保健に関する啓発やフッ化物洗口の実施設数等の拡大に向けて、市町、関係機関・団体等と連携して取り組みます。また、「三重の健康づくり基本計画」および「第二次みえ歯と口腔の健康づくり基本計画」の最終評価および次期計画策定のための基礎資料を得るため、歯科疾患実態調査を実施します。

⑥指定難病等対策事業【基本事業名：12403 難病対策の推進】

予算額：(R2) 2,497,183千円 → (R3) 2,602,524千円

事業概要：難病指定医の育成や指定医療機関の増加により、医療費助成制度を円滑に運営するとともに、拠点病院を中心とする医療提供体制の拡充に取り組みます。また、難病患者等の療養生活の質の向上を図るため、生活・療養相談、就労支援を行います。

⑦骨髄バンク事業【基本事業名：12403 難病対策の推進】

予算額：(R2) 1,172千円 → (R3) 1,381千円

事業概要：骨髄提供希望者（ドナー）登録を推進するボランティア団体や三重県赤十字血液センター、市町等の関係機関と連携を図りながら、若年層を中心とした骨髄バンクに関する正しい知識の普及啓発やドナーの確保に取り組むとともに、「三重県骨髄等移植ドナー助成事業補助金」により、ドナー助成を実施する市町を支援します。